

上小だより

令和7年5月1日
文責 校長 山本祥博

学校教育目標「自信をもって、たくましく生きる 上っ子の育成」

「愛」と「合い」があふれる学校に

新年度になって1か月が過ぎました。毎朝響く元気な挨拶の声、大きなランドセルを背負って頑張って歩く1年生、その1年生と手をつなぎ歩幅を合わせて歩く上級生の姿に元氣や優しさをもらっています。

先週はお忙しい中、授業参観、PTA総会、学級懇談会に多数ご出席いただきありがとうございます。総会の中では限られた時間でありましたが、今年度の学校経営方針、校長としての思いをお話させていただきました。まっすぐ目を合わせ、時にはうなずきながら聞いていただき、皆様のお子さんに対する深い愛情、健やかな成長を願う思いをひしひしと感じました。「愛」と「合い」があふれる学校、家庭づくりのために今後もよろしくお願いいたします。

交通教室がありました。

4月25日に多良木警察署、役場、交通指導員の方々に来校いただき、交通教室を行いました。統計によると7歳の子供が最も交通事故が多く、しかも登下校に慣れてきた頃に発生する確率が高いそうです。大切な命、かけがえのない存在、輝かしい未来を守るために、安全な行動、危険を感じる力を培い、日々の生活の中で生かしてほしいと思います。



今年も図書カードをいただきました

4月15日に上西の橋本弘さんが来校され、「子供たちにたくさん本を読んでもらいたい。」と今年も図書カードをいただきました。上小の子供たちのために、16年という長年にわたって寄贈いただいています。「橋本文庫」にまた新しい本を並べさせていただきます。橋本さんの思いに心から感謝しますとともに子供たちの頭と心の栄養に活用させていただきます。ありがとうございました。



【さすが、上っ子。心温まる話】

4月28日に八代在住の方から学校へ電話がありました。「先日、里帰りをして2才の娘と母校の上小へ行きました。遊んでいた6年生数人がさわやかな挨拶をしてくれうれしくなりました。そして、花輪を作って娘にかけてくれました。お礼を伝えたくて電話をしました。」さわやかなあいさつができること、人を喜ばせたいと思う心、行動力・・・たくさんの思いやりの心、「愛」や「合い」が多くの人を温かく幸せな気持ちにしてくれました。さすが上っ子！